



# ほけんだより11月

平成30年11月  
愛宕台中学校  
保健室

## 11月保健目標:かぜを予防しよう

インフルエンザ等の学校感染症にかかった場合、医師の登校許可が出るまでは出席停止となります。病院受診の結果を学校へ連絡をお願いします。なお、完治し登校する時は、「登校届」(医師より登校許可が出てから、医師の診断結果を保護者が記入)を提出してください。(登校届は、4月に配布しております。愛宕台中学校ホームページからもダウンロードできます。)

**早めの対策が有効** **インフルエンザの予防接種** **を受けることをおすすめします**

Q: いつごろ接種したらいいの?

A: ワクチンで抗体(ウイルスと戦う力)ができるのは、接種後2週間たってからです。

大流行が始まる12月前には受けておいた方がいいでしょう。

予防接種の効果は一般的に5ヶ月といわれています。

Q: 予防接種するとインフルエンザにかからない?

A: 受けてもかかる人もいます。ただし、重症化を防ぐことができます。



## 学校色覚検査について

### 保護者のみなさまへ

小学校4年生で実施していた色覚検査が健康診断の必須項目から外れて10年以上経ちます。先天性色覚異常は、色がまったく分からないというわけではなく、色によって見分けにくいことがある程度で、日常生活にはほとんど不自由はありません。しかし、進学や就職を迎えた時、初めて自分の色覚の特性を知り、戸惑いや進路を変更する事例が報告されています。

本校では、希望者を対象にした色覚検査を行っています。(学校色覚検査は、色覚異常の疑いを選別する検査のため、診断はできません。)治療方法はありませんが、自分自身の色の見え方を知っておくためにも、この検査は大切です。色の見え方に不安や疑問を感じる場合や、色覚検査をまだ受けたことがないなど、学校色覚検査を希望する場合は、下記の同意書にご記入後、11月9日(金)までに担任へ提出してください。

検査日は後日、養護教諭からお子様へ連絡します。

----- き り と り -----

学校色覚検査同意書 (色覚検査を希望する場合のみ提出してください。)

年 組 番 生徒氏名

保護者名



学校色覚検査を希望します。

# 性の多様性 ~セクシュアリティは十人十色~ 人権・生き方

最近ではLGBT以外にもセクシュアルマイノリティに関連する言葉を目にする機会が増えました。（「LGBT+」と標記されることもあります。）LGBTという言葉では十分に表せないほど、「性」は多様だということです。誰もが「ありのままの自分」で生活出来る社会を実現したいですね。

- L（レズビアン：女性同性愛者）
- G（ゲイ：男性同性愛者）
- B（バイセクシュアル：両性愛者）
- T（トランスジェンダー：性別違和）

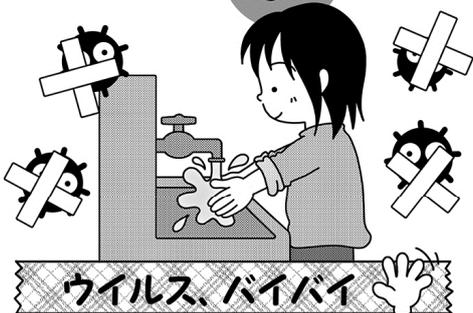


レインボーフラッグは、こういったLGBTなどのセクシュアルマイノリティに関して「自分は味方ですよ」ということを表明するためのシンボルとして使われています。

この他にも、恋愛対象を持たない人や自分の性別を決めない人など「性はグラデーション」（※「ホモ」や「レス」という言い方は差別用語と受け取られることが多いので注意しましょう。）

私たちは一人一人違って当たり前！右利き、左利きのように、ごく自然に個性の一つとして…人との違いを知り互いに尊重することは、性のことに限らず大切な姿勢です。それが差別を無くし、誰もが自分らしく生きられる幸せにつながります。まずは知ることから始めませんか。

しっかり手洗い。



体力つけよう。



楽しく運動♪

冬が来るよ

生活習慣を見直そう！

ストレス 寒さに負けるな！



まえむき ポジティブで行こう。

夜ふかし NG



しっかり睡眠とろうね。



歯みがきでお口の中も清潔に！！

5月に実施した歯科検診の結果でむし歯があるとされた人、治療は終わっていますか？まだ治療票が出ていない人には冬休み前にもう一度治療票をお渡しします。

大事な日に歯が痛い辛い。早めの治療をおすすめします。